となみ中央福祉会　幼保連携型認定こども園　ちゅうりっぷ認定こども園

令和　7年　8月　18日

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1)理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・法人理念を掲示したり、朝礼で唱和したりして職員が意識して行動できるようにしている。 ・年に一度法人全体研修を通して、法人理念について学ぶ機会を設けている。 ・保護者には連絡メールやホームページ、園だより、クラスだよりを通して園での活動や、園児の様子と共に法人理念5つの心について知らせている。
	(2)理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか	○				
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育・保育の計画	(1)社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・ミマモリングソフトを活用し、乳幼児期からの段階的な発達の理解をしながら、教育・保育内容や環境の見直しを意識して行っている。指針に基づきその子の課題、配慮を複数の職員で話し合い、その後評価を行い、連続的に発達の確認、保育環境や関わりの見直しを行っていく。
	(2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3)子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1)子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			・園児の表情や、保護者との会話、連絡帳などを通して、一人ひとりの家庭の背景や、生活リズム、発達等を理解し、個々に寄り添った声かけや援助ができるよう努めている。 ・環境を通した保育ができるよう、研修等に参加したり、ミマモリングソフトでの振り返りをしたりして、日々園児の姿を把握し、発達に適した環境を都度見直していく。 ・園児の主体的な学びにつながるよう、職員が研修等に参加し、知識を養っている。子ども一人ひとりの姿や発達を把握し、フロア会や職員会議等で共通理解できるようにしている。 ・食事については毎月、砺波給食と給食会議を実施している。園の畑で野菜栽培、収穫をし、生長の喜びや食物の大切さを感じられるようにしている。収穫したものを給食に取り入れてもらったり、自らクッキングを実施したりすることで、食の楽しさや作る人への感謝の気持ちを大切にしている。 ・市の家庭相談員に月1回訪問してもらい、助言や指導を受けている。今年度から作業療法士の訪問も予定している。 ・幼保小連絡会や1年生との交流会、授業参観、スタートカリキュラムの作成などを通して、小学校との情報交換に努めている。年度ごとに振り返りを行い次年度に向けて、連携している。今後も継続的に行っていく。また、今年度はお互いに園を訪問したり、保育教諭体験をしたりして、さらに交流を深める。
	(2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか	○				
	(6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか	○				
	(8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			・着替え等の際、虐待が疑われる状況がないか観察している。また園内研修も実施し自分の保育を振り返っている。 ・子育て支援センターでは、利用者ニーズに寄り添い、行事の開催や、気軽に相談、見学、交流、体験、情報交換ができる場の提供を行っている。
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○	○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○	○			
教育・保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			・看護師を中心に、こまめな消毒、換気を行い、感染予防に努めている。園で流行している感染症は、玄関掲示で、保護者に即日伝えている。また、県の感染症情報を開示するなど、職員間での情報共有を積極的に行っている。
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			・アレルギー児の代替食に関しては、保護者から担任、看護師が聞き取りを行い、医師の指示に従って対応している。砺波給食と密に連携し、一人ひとりに合わせた献立表を作成し、それを朝礼で確認することで全職員が対応できるようにしている。
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って訓練を行っている。本当に災害が起きた時にどう行動すべきかということを意識しながら訓練にあたり、振り返りを行っている。
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか	○				・研修会には積極的に参加し、教育保育の質の向上に努めている。学びを職員会議で他職員へも共有し、園全体での職員の資質向上に努めている。
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			・守秘義務や個人情報の保護に関して、日々職員へ遵守を呼びかけ、共通理解を図っている。個人情報を含む書類においては、適正に管理され、職場内のみ作成、処理されている。
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			・意見、要望箱を玄関に設置している。また行事等の際には、保護者アンケートを実施し、意見や要望に対し、管理職も含めた情報共有や早期改善に努め、保護者へ説明するように努めている。今後も園の方針を丁寧に伝えながら、お互いを認め合う姿勢で対応していきたい。
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			